

静岡大学学術リポジトリ



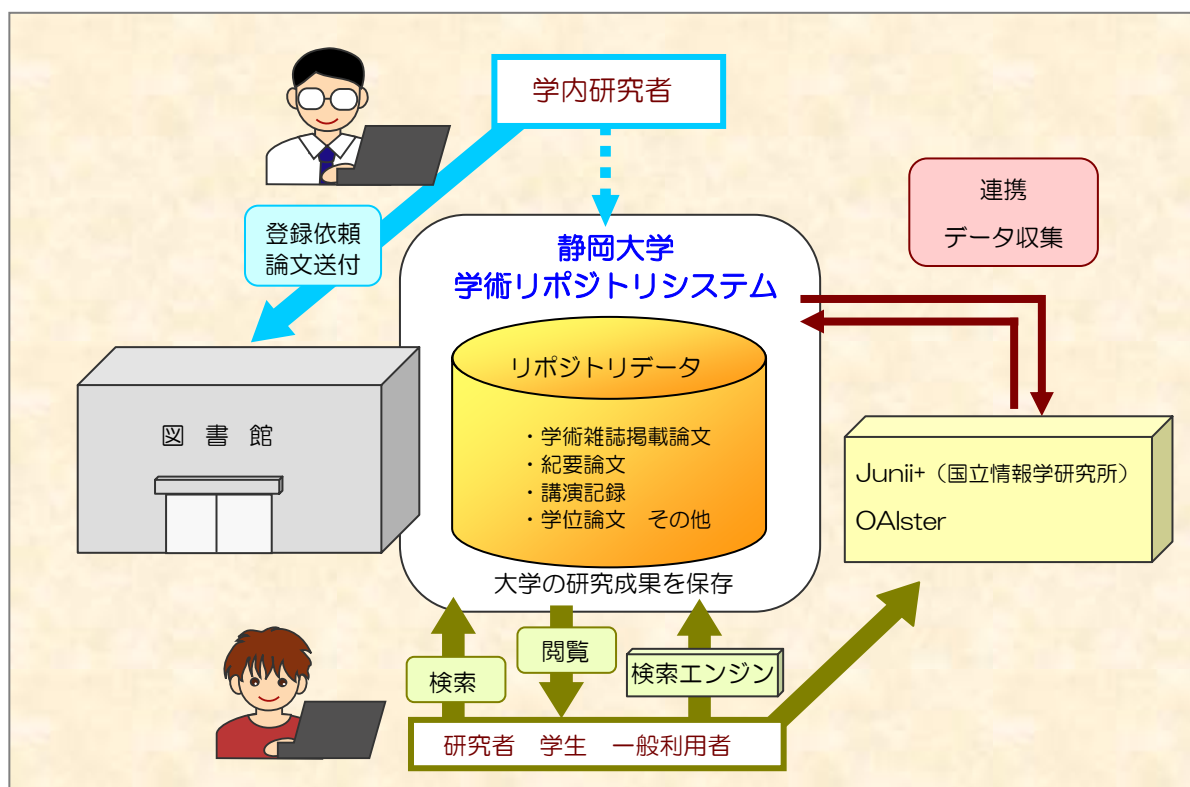
研究成果を世界中に発信
世界中から、直接・検索エンジンを通じて閲覧可能！

こんなメリットが！

- ・静岡大学のリポジトリに登録することで、アクセスが拡大しインパクト（影響力）の向上が期待されます。
- ・いつでもダウンロード可能ですので、研究成果の保存と利用に活用できます。

■ 学術リポジトリってなに？

学術リポジトリ（Institutional Repository）とは、大学等の学術研究機関で生産された電子的生産物を保存・公開することを目的としたシステムであり、オープンアクセス（研究成果を誰もがいつでも無料で利用できる）という考え方に沿って無料で公開するものです。



既に公開している他大学の学術リポジトリを試しに覗いてみてください！

- ・北海道大学学術成果コレクション（HUSCUP） <<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/index.ja.jsp>>
- ・千葉大学学術成果リポジトリ（CURATOR） <<http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/index.html>>
- ・名古屋大学学術機関リポジトリ <<http://ir.nul.nagoya-u.ac.jp/dspace/index.jsp>>
- ・三重大学学術機関リポジトリ研究教育成果コレクション（MIUSE） <<http://miuse.mie-u.ac.jp/>>

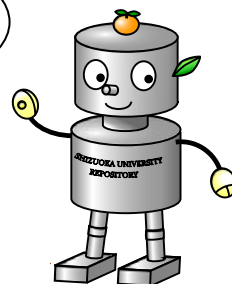
その他にも国立情報学研究所（NII）のリストなどからアクセスしてみてください。

- ・機関リポジトリ一覧 <<http://www.nii.ac.jp/irp/info/list.html>>
- ・Junii+ 機関リポジトリポータル（試験公開版）・・・総合検索ができます。 <<http://juniplus.csc.nii.ac.jp/>>

■ 登録できるコンテンツの種類は？

- 学術雑誌に掲載の論文
- 紀要等学内雑誌に掲載の論文
- 学術関連会議資料（予稿集・発表資料・会議録など）
- テクニカルレポート
- 学位論文
- 単行図書
- 学内で生産されたその他の資料

まずは、
ご相談ください。



* 電子ファイルでの登録となりますが、紙媒体のみお持ちの方は図書館にて電子ファイルへの作成支援をいたします。

■ 著作権について

学術リポジトリに論文等を登録するためには、著作権処理が必要となります。

- 著作権が著者にある場合は、著者の許諾により公開できます。共著者がいる場合は、その許可を頂いてください。
- 学会・出版社等に著作権が渡っている場合は、各学会・出版社等の許諾が必要となります。ただし、海外の学術雑誌の出版社の多く（94%以上）は、セルフ・アーカイブ（研究者による自主保管）を認めています。国内でも、機関リポジトリでの公開を認める出版社が増加しています。この場合の著作権処理については、図書館で行います。
- 著作権の所在が曖昧な場合もあります。必要があれば個別に問い合わせるなど図書館にて調査します。

* 詳しくは担当窓口にご相談ください。

■ さあ、学術研究成果を登録しよう！

静岡大学でも今年度に学術リポジトリがスタートします。

コンテンツをお持ちの方（電子資料でも紙媒体でも可）は、学術リポジトリへの登録をお願いします。

少しでも興味をお持ちの方は下記の問い合わせ先へご連絡を！

★ **コンテンツの受付を11月19日(月)より開始します。**

★ **ご提供いただいたコンテンツの公開は平成20年1月(試験公開時)の予定です。**



<問い合わせ先>

静岡大学附属図書館 電子情報担当

内線：4477（静岡） FAX：054-238-5408

内線：1393（浜松） FAX：053-478-1392

E-mail：reposit@adb.shizuoka.ac.jp